

気象信号変換用 トランスデューサ CDHP

特 徴

- ◆デュアルタイプ(一体型)
- ◆低コスト
- ◆省スペース
- ◆配線工数の低減
- ◆発熱量の低減



型名の構成

CDHP-2

機 能	C : 測温抵抗体変換器 D : アイソレータ
形 状	HP : 14ピンプラグインケース
補助電源	2 : AC 80~264V(50/60Hz) DC 80~143V

仕 様

入力、出力、補助電源の仕様は製品に表示してあります。ご要求の仕様と一致していることを確認してください。尚、入力、出力、補助電源の仕様は以下の通りです。

入力仕様

(1) 測温抵抗体温度変換器 (C)

- ・使用可能な測温抵抗体 白金 (Pt, JPt) 100Ω (0℃)
* JIS C 1604-1997 (測温抵抗体) に準拠
- ・入力方式 3線式 (許容導体抵抗一線当たり 200Ω)
- ・センサ規定電流 DC2mA
- ・製作可能範囲 -200~650℃の温度範囲内で、50℃以上の入力スパン

(2) アイソレータ (D)

- ・入力抵抗 電圧入力: 約1MΩ (入力範囲が100mV以下の仕様では約100kΩ)
電流入力: 入力範囲の上限の電流値で、約0.1Vの電圧降下が得られる値としています。但し、入力範囲の上限値が10mA以上の仕様は、入力抵抗は10Ωとしています。
- ・製作可能範囲 電圧入力: DC 10mV~50V
電流入力: DC 0.1mA~100mA

出力仕様 (C, D共通)

(1) 電圧出力

- ・ 負荷抵抗範囲 600Ω～∞ (出力範囲が10V以上の仕様では2kΩ～∞)
- ・ 製作可能範囲 DC 10V以下

(2) 電流出力

- ・ 負荷抵抗範囲 0～(10V÷出力範囲の上限値) Ω (4～20mAの仕様では0～750Ω)
- ・ 製作可能範囲 DC 20mA以下

(3) 補助電源仕様

動作範囲	定格周波数	消費電力
AC 80～264V	50/60Hz	4.5VA以下
DC 80～143V	—	3W以下

性能

	測温抵抗体温温度変換器 (C)	アイソレータ (D)
許容差	出力スパンの±0.30%以下(周囲温度23℃) (直線性、出力スパンの±0.20%以下)	出力スパンの±0.20%以下 * (周囲温度23℃)
温度の影響	出力スパンの±0.20%以下 — 周囲温度の±10℃変化で	出力スパンの±0.20%以下 * — 周囲温度の±10℃変化で
補助電源電圧の影響	出力スパンの±0.10%以下 — 補助電源電圧の±10%変化で	出力スパンの±0.10%以下 — 補助電源電圧の±10%変化で
出力負荷の影響	出力スパンの±0.05%以下 — 負荷抵抗範囲内で	出力スパンの±0.05%以下 — 負荷抵抗範囲内で
応答時間	0.5秒以下 — 最終定常値の±1%に収まるまでの時間	0.5秒以下 — 最終定常値の±1%に収まるまでの時間
商用周波耐電圧	入力、出力、補助電源、外箱 (G端子) の各相互間、 AC 2000V、1分間	
絶縁抵抗	入力、出力、補助電源、外箱 (G端子) の各相互間、 DC 500Vメガーで100MΩ以上	
過負荷耐量	出力	出力は、電圧出力・電流出力のいずれも連続の短絡、又は開放に耐えます。
	補助電源	〈共通〉 動作範囲の上限値の1.5倍を10秒間、10秒間隔で10回 〈AC電源〉 使用定格の120%で連続2時間 〈DC電源〉 動作範囲の上限値の120%で連続2時間

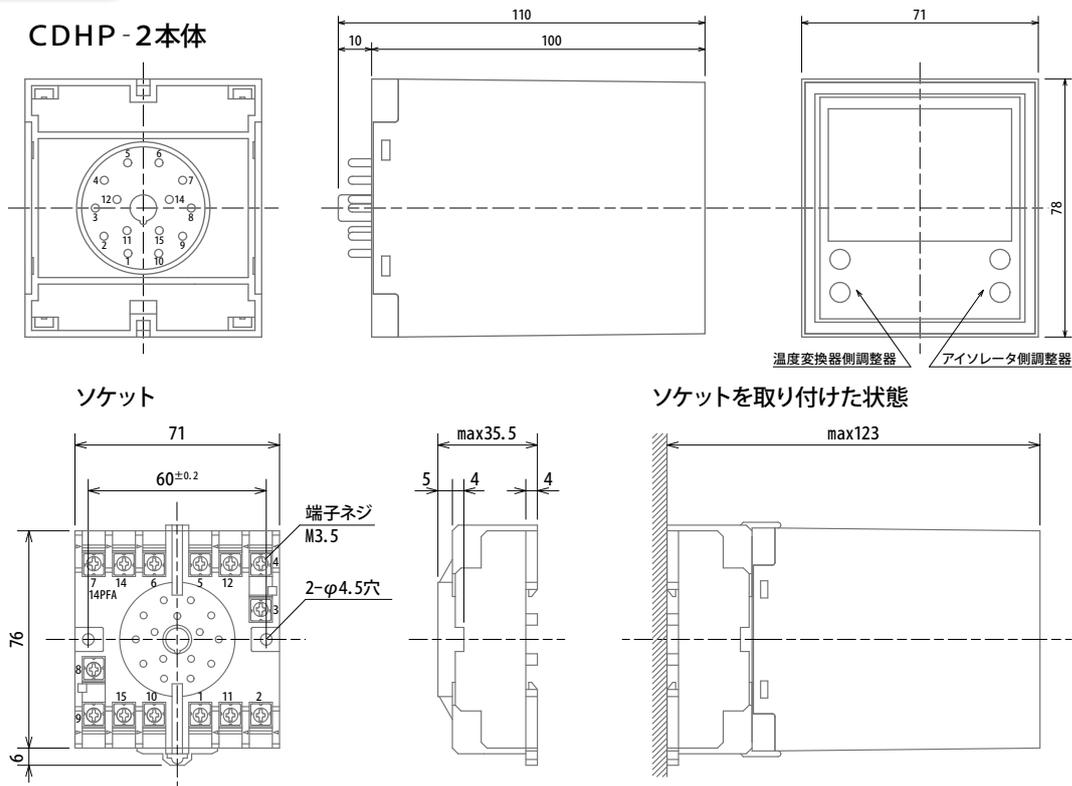
(注1) %は出力スパンに対する百分率です。

(注2) 入力範囲、又は出力範囲が50mV未満の場合、『*』の項目は2倍の数値になります。

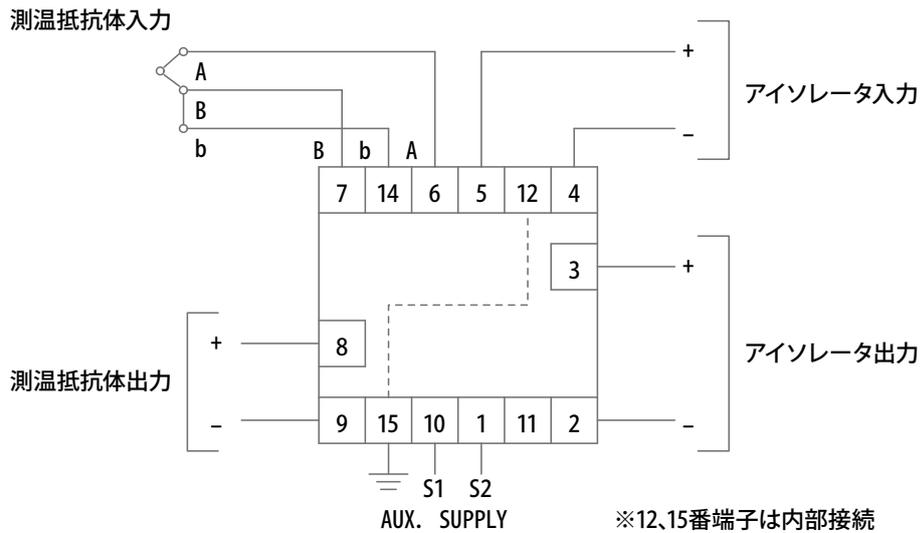
使用条件

- (1) 使用温度範囲 -10～55℃
- (2) 保管温度範囲 -30～70℃
- (3) 相対湿度 85%以下
- (4) 標高 1000m以下
- (5) 取付位置 制限なし

外形寸法図



結線図



ご注文例

CDHP-2 温度変換器 (C側) ----- 入力:Pt 100Ω -50~0~50℃ (センサ電流 DC 2mA)
 出力:DC 4~12~20mA
 アイソレータ(D側) ----- 入力:DC 0~10mV
 出力:DC 4~20mA

※ 特殊仕様については当社係員までご相談下さい。

ご使用接続例

